

京都府警察と特殊詐欺の被害拡大防止などを目的に 「京都モデル」の運用開始について

ソニー銀行株式会社（代表取締役社長：南 啓二／本社：東京都千代田区／以下 ソニー銀行）は、他の金融機関9行（以下、協定行）とともに、深刻化する特殊詐欺やSNS型投資詐欺・ロマンス詐欺の被害拡大防止を目的に、京都府警察が運用する「京都モデル」の開始に向けて、同府警察との間で「特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺等の対策に関する協定書」を締結しました。

1. 協定締結の背景と目的

近時、特殊詐欺やSNSを悪用した投資詐欺・ロマンス詐欺の被害は一層深刻化しており、不正に開設された預貯金口座が被害金の授受に利用される事例が増えています。

当社では、お客様の大切な資産を守るため、京都府警察との情報連携体制を構築し、不正利用口座の早期発見・凍結による被害拡大の防止と被害金回復などに取組んでまいります。

2. 「京都モデル」の概要

京都モデルは、各都道府県警察が実施している従来の金融機関との情報連携に加え、京都府警察と協定行がリアルタイムに情報を共有することで、詐欺に利用された口座や詐欺被害者を迅速に特定するしくみです。

従来の情報提供モデル

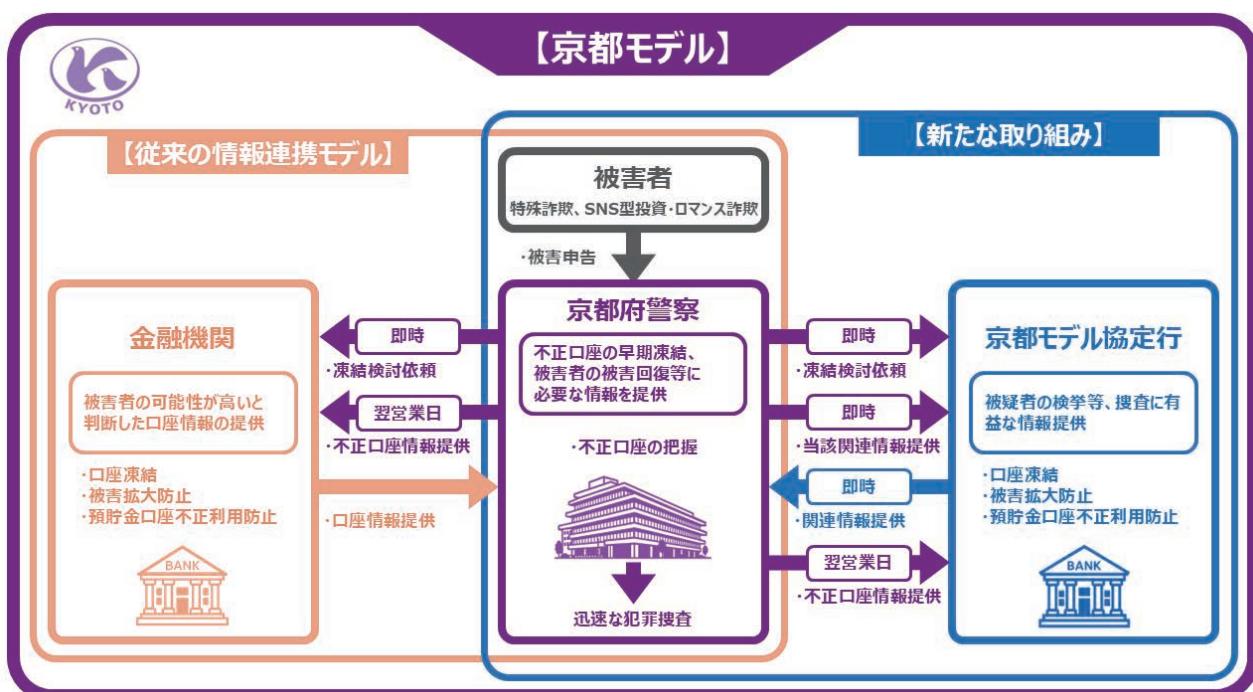
協定行は、被害が疑われる顧客を確認した場合、警察に情報提供を行うなど、被害拡大防止に努める

京都モデルにおける新たな取組

京都府警察は、協定行の口座が特殊詐欺などに利用されていることを確認した場合、即時口座凍結を要請

協定行は、口座凍結を行うと同時に、捜査に有益な情報を即時京都府警察に回答

京都府警察は、協定行からの回答をもとに、被害金の確保や迅速な犯罪捜査を実施



3. 今後の取組

当社は、警察庁および金融庁からの要請に基づき、預貯金口座の不正利用防止に向けた対策を一層強化してまいります。今後も官民連携を通じて、金融犯罪の未然防止と犯罪捜査への協力を進め、社会全体の安全・安心の向上に貢献してまいります。

協定行（金融機関コード順）

- ・ソニー銀行株式会社
- ・株式会社セブン銀行
- ・楽天銀行株式会社
- ・住信SBIネット銀行株式会社
- ・auじぶん銀行株式会社
- ・株式会社イオン銀行
- ・株式会社ローソン銀行
- ・株式会社みんなの銀行
- ・株式会社UI銀行
- ・株式会社SBI新生銀行（2025年12月15日現在）

以上

ソニー銀行のサイト | 企業案内 <https://sonybank.jp/corporate/> ウェブサイト <https://sonybank.jp/>

ソニー銀行株式会社 登録金融機関 関東財務局長（登金）第578号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 日本STO協会